

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本写真芸術専門学校
設置者名	学校法人呉学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
画像専門課程	I部3年制写真科 総合写真研究専攻	夜・通信	4,920時間	80×3=240時間	
	I部3年制写真科 フォトフィールドワーク専攻	夜・通信	5,040時間	80×3=240時間	
	I部3年制写真科 フォトアート専攻	夜・通信	4,920時間	80×3=240時間	
	I部3年制写真科 フォトソーシャルビジネス専攻	夜・通信	3,360時間	80×3=240時間	
	I部3年制 フォトソーシャルビジネス科	夜・通信	3,360時間	80×3=240時間	
	I部2年制写真科	夜・通信	4,920時間	80×2=160時間	
	II部2年制写真科	(夜)・通信	2,640時間	45×2=90時間	
(備考)各学科ともに、選択科目を設置しており、学生たちは定められた科目数を開講授業から選択して受講する。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公式Webサイト(https://npi.ac.jp/pdf/evaluation/)にて授業科目一覧と、実務経験のある教員のシラバスを公開。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本写真芸術専門学校
設置者名	学校法人呉学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

名簿は本部事務局にて保管。請求があれば閲覧可能。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	芥川賞作家	2020年6月 10日～2024 年6月10日	教育内容や学科編 成に対する専門的 知見
非常勤	元物販会社代表取締役	2020年6月 10日～2024 年6月10日	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本写真芸術専門学校
設置者名	学校法人呉学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教育レベル・学生の学力向上のため、授業を担当する教員は、授業内容、定期考査について検討・検証を必ず行う。その検証結果に基づいて講義・実習について授業計画の作成を行う。毎年度実施される講師会及び主任講師会議において、授業の到達目標及びテーマ、講義内容、実習内容、授業プラン、成績評価基準について協議を行い、すべての科目について担当教員はそれを記載・提出することを義務付けている。</p> <p>翌年度の授業計画は、3月までに担当者が作成し、主任講師の承認後決定し、授業計画をWebサイト上に公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	公式Webサイト(https://npi.ac.jp/pdf/evaluation/)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

本校教育規定に基づき、単位履修及び成績、進級と卒業の要件について規定している。

以下、日本写真芸術専門学校 学校要覧 教育規定から抜粋

■出席基準

必修科目、選択科目

全授業回数出席 3分の2以上 審査資格を得る

出席 3分の1以上 課題提出により審査資格を得る

出席 3分の1未満 審査資格不可

特別科目

各授業や行事について全授業回数や日程の

出席 3分の2以上 審査資格を得る

出席 3分の2未満 審査資格不可

期末・進級・卒業審査

全課題提出 審査資格を得る

一部未提出 審査資格不可

■課題基準

各科目の担当講師が授業中に指示した課題、または掲示にて告知した課題を提出し平均点を算出する。課題には、提出規定(枚数や締切)があり、提出規約を満たしていない課題は無効とする。なお、特別科目については出欠基準のみで評価される場合もある。

各科目について全課題の 4分の3以上を提出 平均点算出可

4分の3未満の提出 特別課題

全課題の合計点数÷課題数=平均点 60点以上 合格

平均点 59点以下 再試験

■採点基準

各科目、期末審査など、担当講師が出席基準、課題基準を基に「技術力・発想力・処理能力・授業態度」なども総合的に判断し、下記 4 評価に基づき評価する。

<評価>	<点数>	<可否>
A 特に良い	80点以上	合格
B 良い	70点以上	合格
C 普通	60点以上	合格
D 劣る	59点以下	不合格

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
客観的な点数による評価を行い、上記教育規定内の規定により、A～Cを合格、Dを不合格として採点を行う。またこの指標は学則および教育規定内で規定・公表されている。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	公式 Web サイト(https://npi.ac.jp/pdf/evaluation/)
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
<p>■進級認定 画像専門課程</p> <p>1 年以上在籍し、進級審査に合格した学生で進級判定会議にて進級と判定された者。</p> <p>■卒業認定</p> <p>画像専門課程 I 部写真科 3 年制</p> <p>3 年以上在籍し、卒業に必要な 2,550 時間数以上の科目を履修し、卒業審査で合格した学生で、卒業判定会議にて卒業と判定された者。</p> <p>画像専門課程 I 部写真科 2 年制</p> <p>2 年以上在籍し、卒業に必要な 1,700 時間数以上の科目を履修し、卒業審査で合格した学生で、卒業判定会議にて卒業と判定された者。</p> <p>画像専門課程 II 部写真科 2 年制</p> <p>2 年以上在籍し、卒業に必要な 800 時間数以上の科目を履修し、卒業審査で合格した学生で、卒業判定会議にて卒業と判定された者。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	公式 Web サイト(https://npi.ac.jp/pdf/evaluation/)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本写真芸術専門学校
設置者名	学校法人呉学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://npi.ac.jp/pdf/evaluation/taishaku_taisho.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://npi.ac.jp/pdf/evaluation/shushi_keisan.pdf
財産目録	https://npi.ac.jp/pdf/evaluation/zaisan_mokuroku.pdf
事業報告書	https://npi.ac.jp/pdf/evaluation/jigyo_hokoku.pdf
監事による監査報告（書）	https://npi.ac.jp/pdf/evaluation/kansa_hokoku.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		画像専門課程	I部3年制写真科 総合写真研究専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 3,600 単位時間/単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼		1,320 単位時間 /単位	単位時間 /単位	2,280 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
130人		114人	40人	18人	2人	20人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 授業内容、課題概要、到達目標の公開を各授業で実施している。 学生ひとりひとりの個性を引き出す個別指導、積極的な学生への支援、授業についていけない学生のフォロー、その他学生の個別相談に応じるなどの対応を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	2人 (12.4%)	7人 (43.8%)	7人 (43.8%)
（主な就職、業界等） 広告代理店（カメラマンアシスタント）、レンタルスタジオ、出版社（カメラマンアシスタント）等			
（就職指導内容）毎週就職活動に関する授業を実施する他、新卒採用予定の企業人事担当者を招き、学内合同企業説明会及び採用面接会を開催しています。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 特になし			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
101人	17人	16.8%
（中途退学の主な理由） 大学進学などの進路変更、精神的な病気、金銭的な事情、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い帰国、クラスになじめない、など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個別面談と、様子が変わったときの個別面談で本人の悩みを聞きだす、など。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	画像専門課程	I部3年制写真科 フォトフィールド ワーク専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,600 単位時間/単位	1,320 単位時間/単位	単位時間/単位	2,280 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
130人	17人	2人	18人	2人	20人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 授業内容、課題概要、到達目標の公開を各授業で実施している。 学生ひとりひとりの個性を引き出す個別指導、積極的な学生への支援、授業についていけない学生のフォロー、その他学生の個別相談に応じるなどの対応を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	人 (%)	4人 (80%)	1人 (20%)
（主な就職、業界等） 広告代理店（カメラマンアシスタント）、レンタルスタジオ、出版社（カメラマンアシスタント）等			
（就職指導内容）毎週就職活動に関する授業を実施する他、新卒採用予定の企業人事担当者を招き、学内合同企業説明会及び採用面接会を開催しています。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 特になし			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26 人	3 人	11.5%
(中途退学の主な理由) 大学進学などの進路変更、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い帰国、など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個別面談と、様子が変わったときの個別面談で本人の悩みを聞きだす、など。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	画像専門課程	I部3年制写真科 フォトアート専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,600 単位時間/単位	1,320 単位時間/単位	単位時間/単位	2,280 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
130人	15人	9人	18人	2人	20人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 授業内容、課題概要、到達目標の公開を各授業で実施している。 学生ひとりひとりの個性を引き出す個別指導、積極的な学生への支援、授業についていけない学生のフォロー、その他学生の個別相談に応じるなどの対応を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 2021年度新設の為、卒業生数や中途退学の情報は無し			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			

(備考) (任意記載事項)
2021年度新設の為、卒業生数や中途退学の情報は無し。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	画像専門課程	I部3年制写真科 フォトソーシャルビ ジネス専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,540 単位時間/単位	1,140 単位時間/単位	単位時間/単位	2,400 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
130人	1人	0人	18人	2人	20人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 授業内容、課題概要、到達目標の公開を各授業で実施している。 学生ひとりひとりの個性を引き出す個別指導、積極的な学生への支援、授業についていけない学生のフォロー、その他学生の個別相談に応じるなどの対応を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 2020年度新設学科のため実績なし。			
（就職指導内容）			

(主な学修成果 (資格・検定等))
(備考) (任意記載事項) 2020年度新設学科のため実績なし。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5 人	4 人	80 %
(中途退学の主な理由) 他専攻への転科(進路変更)、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い帰国、など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個別面談と、様子が変わったときの個別面談で本人の悩みを聞きだす、など。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化教養	画像専門課程	I部3年制 フォトソーシャル ビジネス科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 3,540 単位時間/単位	開設している授業の種類		
			講義 1,140 単位時間/単位	演習 単位時間/単位	実習 2,400 単位時間/単位
3年	昼		単位時間/単位		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20人	3人	0人	18人	2人	20人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 授業内容、課題概要、到達目標の公開を各授業で実施している。 学生ひとりひとりの個性を引き出す個別指導、積極的な学生への支援、授業についていけない学生のフォロー、その他学生の個別相談に応じるなどの対応を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 退学と転科により卒業生は0名。			
（就職指導内容）			

(主な学修成果 (資格・検定等))
(備考) (任意記載事項) 退学と転科により卒業者は0名。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	1人	25%
(中途退学の主な理由) 金銭的な事情、など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個別面談と、様子が変わったときの個別面談で本人の悩みを聞きだす、など。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化教養		画像専門課程	I部2年制写真科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 2,400 単位時間/単位		開設している授業の種類		
	昼			講義	演習	実習
2年			720 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,680 単位時間 /単位	単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
130人		158人	60人	18人	2人	20人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要） 授業内容、課題概要、到達目標の公開を各授業で実施している。 学生ひとりひとりの個性を引き出す個別指導、積極的な学生への支援、授業についていけない学生のフォロー、その他学生の個別相談に応じるなどの対応を行っている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
64人 (100%)	人 (%)	34人 (53.1%)	30人 (46.9%)
（主な就職、業界等） 広告代理店（カメラマンアシスタント）、レンタルスタジオ、出版社（カメラマンアシスタント）等			
（就職指導内容）毎週就職活動に関する授業を実施する他、新卒採用予定の企業人事担当者を招き、学内合同企業説明会及び採用面接会を開催しています。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 特になし			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
165 人	23 人	13.9 %
(中途退学の主な理由) 大学進学などの進路変更、精神的な病気、金銭的な事情、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い帰国、クラスになじめない、など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個別面談と、様子が変わったときの個別面談で本人の悩みを聞きだす、など。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化教養		画像専門課程	Ⅱ部2年制写真科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類		
				講義	演習	実習
2年	昼	1,440 単位時間/単位		120 単位時間/単位	1,320 単位時間/単位	単位時間/単位
				単位時間/単位		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
130人		32人	0人	18人	2人	20人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要） 授業内容、課題概要、到達目標の公開を各授業で実施している。 学生ひとりひとりの個性を引き出す個別指導、積極的な学生への支援、授業についていけない学生のフォロー、その他学生の個別相談に応じるなどの対応を行っている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	人 (%)	12人 (57%)	9人 (43%)
（主な就職、業界等） 広告代理店（カメラマンアシスタント）、レンタルスタジオ、出版社（カメラマンアシスタント）等			
（就職指導内容）毎週就職活動に関する授業を実施する他、新卒採用予定の企業人事担当者を招き、学内合同企業説明会及び採用面接会を開催しています。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 特になし			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41 人	7 人	17 %
(中途退学の主な理由) 精神的な病気、金銭的な事情、クラスになじめない、など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個別面談と、様子が変わったときの個別面談で本人の悩みを聞きだす、など。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記 載事項)
I部3年制写真科 総合写真研究専攻	180,000円	860,000円	340,000円	
I部3年制写真科 フォトフィールドワーク専攻	180,000円	860,000円	340,000円	
I部3年制写真科 フォトアート専攻	180,000円	860,000円	340,000円	
I部3年制写真科 フォトソーシャルビジネス専攻	180,000円	860,000円	340,000円	
I部3年制 フォトソーシャルビジネス科	180,000円	860,000円	340,000円	
I部2年制 写真科	180,000円	860,000円	340,000円	
II部2年制 写真科	100,000円	380,000円	200,000円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HPで公開している https://npi.ac.jp/pdf/evaluation/self-assessment-report.pdf		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 写真業界関係者や卒業生、近隣企業社員などで学校関係者評価委員会を組織し、各々の見地から学校運営や教育内容等について評価を行っている。 評価結果については総務課及び教務課において共有のうえ、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
大学 客員教授	2021年4月1日～ 2022年3月31日	学識経験者
写真スタジオ 取締役	2021年4月1日～ 2022年3月31日	業界関係者代表

地元企業 社員	2021年4月1日～ 2022年3月31日	地域代表
校友会会長	2021年4月1日～ 2022年3月31日	卒業生代表
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HPで公開している https://npi.ac.jp/pdf/evaluation/school-official-evaluation.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://npi.ac.jp/ https://npi.ac.jp/about/evaluation/

(別紙) 2020年度に確認を受けたため、記載しません。